

2 対談 (10:20-11:20)



D-proBooks アワード 2018 発表と新たな学び

◆趣旨説明◆

タブレット型端末の普及と共に電子書籍の普及も広がってきている。電子書籍は印刷の手間が無いので、すぐにダウンロードして読むことができ、写真や動画、音楽といった様々な形式のメディアを一つにまとめられるというメリットがある。電子書籍は、今後の教育分野においても、学習者向けのデジタル教科書やデジタル資料集、教師向けのデジタル教育書という形で進化し、広がっていくものと推察できる。

そこで、D-project では、D-proBooks という電子書籍を開発し発展させていくことで、子どもたちの新たな学びに資することにチャレンジしている。初年度は、教師向けのデジタル教育書を広く公募し、査読の結果10点のD-proBooksが完成した。今回は、その中でも優れた作品を取り上げ、D-proBooks アワードという形で表彰し、その内容を吟味すると同時に、制作者の授業実践を支える授業観について明らかにしていく。

さらに、前田と小林が、これからのD-proBooksの可能性について語り合うことによって、それを使った新しい学びの姿を明らかにしていきたい。そして、多くの教師が、D-proBooksの開発にチャレンジすることを期待したい。

◆登壇者紹介◆

前田 康裕 (まえだ やすひろ)



熊本大学教職大学院 准教授

熊本大学教育学部美術科卒業。岐阜大学教育学部大学院教育学研究科修了。公立小中学校教諭、熊本大学教育学部附属小学校教諭、熊本市教育センター指導主事、熊本市立向山小学校教頭を経て、現職。

近著：前田康裕著（2018）『まんがで知る教師の学び3——学校と社会の幸福論』さくら社



小林 祐紀 (こばやし ゆうき)

茨城大学教育学部 准教授

金沢大学大学院教育学研究科修了。

公立小学校教諭を経て、現職。

近著：小林祐紀・兼宗進ら（編著）（2018）『これで大丈夫！小学校プログラミングの授業 3+α の授業パターンを意識する』翔泳社